

令和5年

第3回防府市議会定例会

一般質問

6月16日（6人）

1 梅本 洋平・2 今津 誠一・3 河村 孝・4 山田 耕治  
5 石田 卓成・6 上田 和夫

6月19日（6人）

7 村木 正弘・8 宇多村 史朗・9 河杉 憲二・10 高砂 朋子  
11 森重 豊・12 久保 潤爾

6月20日（6人）

13 松村 学・14 三原 昭治・15 和田 敏明・16 清水 力志  
17 田中 健次・18 吉村 祐太郎

No.	1	梅本 洋平	
質 問 事 項			要 旨
1	「子どもの輝く笑顔 夢を育むまち 防府」を目指した子育て支援について		<p>政府は少子化を止めるべく、「異次元の少子化対策」を打ち出しており、そのたたき台が3月31日に発表され具体案について検討中。また、東京23区では本年4月1日から、高校生世代の医療費が所得制限なしで無償化することとなった。</p> <p>この状況を受けて自由民主党の参院政策審議会が「東京23区などで実施している高校生までの医療費無償化を全国に拡大するための財政支援を求めた」提言案を5月末に提出した。</p> <p>つまり、こども医療無償化について市の考える「国において全国で統一的に実施される」未来が近くに見えてきたわけである。</p> <p>市として今後の子育て支援についてどのように考えるのかご所見をお伺いする。</p>
2	市民の課題に寄り添う福祉相談支援体制の構築について		<p>第三次防府市地域福祉計画の中で「包括的支援体制の整備」を活動目標に掲げ、現在は地域包括支援センター、障害者の相談支援事業、子育て世代包括支援センター（まんまるほうふ）、子ども家庭総合支援拠点（こども相談室）を設置し各々に該当する問題を抱える方の相談に対応している。これらの相談施設に当てはまらない方々、つまり、高齢者でもなく障害者でもない方々や、子どもや子育てに関連しない悩みを抱えている方々、または該当するカテゴリに属するけれども相談すべき場所がわからない方々が気軽に相談することのできる総合相談窓口を新庁舎の中に設置することが市民サービスの向上に繋がると考えるがご所見をお伺いする。</p>

No.	2	今津 誠一
質問事項		要 旨
1	防府市の新たな農業への挑戦	<p>いま、世界的な食糧危機が云われている。その背景には、世界人口の増加、気候変動等による食糧の減産、食糧の需給バランスの崩壊がある。</p> <p>そんな中、日本は先進国の中で、食糧自給率が最も低く、この危機を深刻に受け止める必要がある。</p> <p>日本の農業の課題は、自給率の向上と安全な農産物の供給である。</p> <p>しかし主食のコメや野菜、果物等は、そのほとんどが慣行農法で栽培されている。慣行農法とは、農薬、化学肥料、除草剤等を使用して作物を栽培する農法で、これが国民の健康を害していることは、統計上明らかである。</p> <p>慣行農法に執着する理由は、農薬や化学肥料を使用しなければ多くの人々の食糧を充たすことはできないと考えられていたからである。</p> <p>しかし、慣行農法も農業資材やエネルギー価格の高騰により、曲がり角に直面した。</p> <p>お米農家は作れば作るほど赤字になるという状況だ。</p> <p>そこで今注目され始めたのが、肥料も農薬も一切使用せず、コストゼロでコメや野菜、果物を栽培する自然農法や有機農法である。</p> <p>先進事例を紹介しつつ、防府市の新たな農業への挑戦を提案する。</p>

No.	3	河村 孝
質 問 事 項		要 旨
<p>1 組織改編による市民生活の向上と本市の成長戦略について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症は、5月8日より感染症法上の位置づけが五類感染症となり、アフターコロナを見据えた生活向上や経済戦略が求められている。コロナ禍による生活の大きな変化を経験し、アフターコロナはコロナ前と違う新しい生活様式になると言われている。特に、新しいニーズへの対応や再来年の大阪・関西万博を控えた観光分野、テレワークなどDXが普及した中での広報分野などでは、大きな変化が予想されている。</p> <p>本市においては、文化スポーツ観光交流部の設置や総合政策部への地域振興課の移管、こども家庭庁が設置されたことに伴う、こども家庭統括室の設置、くらし環境課やカーボンニュートラル推進室、広報広聴課内に広報戦略室の設置など、本年度の組織改編が行われた。</p> <p>この新たな組織で、未来に向けて、市民生活の向上と本市の成長戦略についてどのように考えるのか、ご所見を伺う。</p> <p>(1) 文化財等を積極的に活用した観光振興について</p> <p>(2) 妊娠前から出産、子育てまでの切れ目ない支援について</p> <p>(3) カーボンニュートラルのさらなる推進について</p> <p>(4) 広報戦略の強化について</p>	

No.	4	山田 耕治
質問事項		要 旨
1	空き家の活用施策について	<p>(1) 第2次防府市空家等対策計画を進める中で、平成27年度と令和元年度の調査では、危険な空き家の件数は減少し、成果も上がってきてはいるが、一方で危険な空き家以外の空き家については、大幅に増加しているという報告がされている。現状を把握する中で、相談を受けている空き家件数と特定空家等の件数の推移は？</p> <p>(2) 令和4年度の取り組みで「空き家対策防府モデル事業」への参加を募集し展開しているが、状況と今後の取り組みは？</p> <p>(3) 空き家への対応状況や情報をホームページ等で見えるようにすべきでは？</p> <p>(4) 新たな取り組みとして、企業と自治会、行政の三者が進める空き家対策プロジェクトを企画し、家財処分に対する補助が出来ないか？</p>
2	学校における働き方改革と施設運用について	<p>(1) 本市における教員の労働時間の管理状況は？</p> <p>(2) 全国的にも教員の数が減少している中で、本市における現状と課題は？</p> <p>(3) 令和5年度に、剣道・柔道、令和7年度には部活動が地域へ全面移行とのこと。部活動を通じて生徒の育成を熱心に続けている教員も含めた働き方改革の課題は？</p> <p>(4) 防犯カメラ設置が進められる中で、地域への学校開放も必要と思うが、駐車場が不足している学校もあるのではないかと？駐車場の確保も必要と思うが現状の把握は？</p>

No.	5	石田 卓成		
質 問 事 項			要 旨	
1	女性スペースを守るとの宣言を		<p>エマニュエル駐日米国大使からの内政干渉を受けて、国会で議論されているLGBT法案であるが、大多数のシスジェンダーの女性（生まれた時に割り当てられた性別と性自認が一致し、それに従って生きる人）から、トイレや更衣室等が共用になってしまうのではないかという懸念が表明されている。法案が成立してしまえば、執行部としても立場を主張しにくくなると思うので、今のうちに、市有施設については、男性・女性・男女共用・多目的用というように分けて、シスジェンダーの女性の権利を確実に守ることを宣言して欲しいがいかがでしょうか。</p>	
2	学校給食で使う米は防府産限定で		<p>(1) 現在、学校給食センターに納入されている米については、山口市産となっておりますが、どのような入札条件となっておりますか。</p> <p>(2) これまで当局としても地産地消を進めてきた中であって、防府産の米が納入可能な状態にあるのに、他産地の米が入ってきていることは大変遺憾なことだと考えています。なぜ、このような事が起こってしまっているのでしょうか。</p> <p>(3) 今後、二度とこのようなことが起こらないように、入札条件を厳格化すべきと考えますが、執行部のご所見を伺います。</p>	
3	公共事業をする際、農地にある肥土は再利用し次の世代へ継承を		<p>様々な公共事業が行われ、農地が転用されることも多いが、農地の作土（肥土）については、少なくとも1000年以上前から先人たちが、刈草を入れたり、糞尿堆肥を入れたりして大切に育ててくれたものであり、我々百姓の血と汗の結晶といっても過言ではなく、そして一度失ってしまえば人工的に短期間で作れるものでもありません。</p> <p>この肥土は、作物を育てるために先人たちが遺してくれた贈り物であり、しっかりと次の世代に引き継いでいくのが我々の使命と考えておりますが、最近では宅地造成が行われる際に、剥ぎ取らずに埋め立てられてしまうことも多く心を痛めています。</p> <p>本当であれば、肥土を大切に扱う条例の制定に向けて他の議員の皆さまも一緒になって考えて頂けないかなと思っているところではありますが、最低限、これから我が市において行われる公共事業については、肥土を埋めたり捨てたりするのではなく、きちんと剥ぎ取った上で保管をして、ほ場整備や、新規就農者がハウスを建てる際などに再利用して欲しいと考えておりますが、執行部のご所見を伺います。</p>	

No.	6	上田 和夫
質 問 事 項		要 旨
1 庁舎建設について	<p>これから新庁舎の形が目に見えるようになると、市民の関心や期待はますます高まってくるが、新庁舎の供用開始に向けた今後のスケジュールについて、どのように考えているか。</p>	

No.	7	村木 正弘		
質 問 事 項			要 旨	
1	防府市の防災ネットワークの構築について		<p>県立総合医療センターの建て替え候補地として、市が整備を進めている佐波川右岸広域防災広場の隣接地が適地との考えが県から示された。</p> <p>両施設の相乗効果による広域防災広場の強化も期待される中、防災ネットワーク全体の充実に向けての本市のご所見を伺う。</p>	
2	誰もが投票しやすい環境づくりについて		<p>高齢者や障がい者の投票行動支援策として投票に際し、手伝ってほしい内容にチェックを入れ、入場券と一緒に係員に渡すことでスムーズに投票できる「投票支援カード」を導入しては如何か。</p>	



No.	8	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
<p>1 防府市の農地の現状について</p> <p>2 带状疱疹ワクチン費用の助成について</p>	<p>(1) 今後、担い手が不在で更に耕作放棄地の増加が見込まれるが、農地の現状と農地を維持するためにどのように考えておられるか伺う。</p> <p>(2) 耕作不能の土地の現地調査のために、GPS機能を備えたタブレットが不可欠と考える。農業委員会へタブレットが配布されていると聞かすが、今後どのように活用されるのか、またタブレット増強のお考えはあるか伺う。</p> <p>带状疱疹は50歳代から発症率が高くなると言われており、その予防のため50歳以上の方を対象としたワクチンがあります。この带状疱疹ワクチンは、現在、任意接種のため、ワクチン接種にかかる費用が自己負担となっているが、今後、その費用の助成を考えておられるか伺う。</p>	

No.	9	河杉 憲二
質問事項		要 旨
1 観光振興について	<p>現在、市では観光のV字回復に向けて取り組んでいるところであるが、国内外からのさらなる誘客に向けて、今後、本市の観光振興にどのように取り組んでいくのか、ご所見を伺います。</p>	

No.	10	高砂 朋子		
質問事項			要 旨	
1	公民館の役割と機能の充実について		<p>(1) 市民の皆さまが住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備として、公民館の機能を強化することが重要。本市の取組状況を伺う。</p> <p>(2) 総合計画の重点プロジェクトに「安全・安心を第一にしたまちづくり」として、公民館の移転・建替えも示されている。大道公民館を始め、今後の更新についてご所見を伺う。</p>	
2	小中学校のトイレ整備について		<p>文科省は、令和2年9月時点の公立小中学校のトイレ状況について調査。洋式化率は全国57.0%、県は37.1%で46位、本市は30.9%、13市中11位の低さである。</p> <p>同省は、新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現を謳い、衛生環境確保のためのトイレ洋式化・乾式化は、学校施設のスタンダードとしている。</p> <p>本市のご所見を伺う。</p>	
3	「身寄り問題」への対応について		<p>総務省は、2040年には単独世帯が全世帯の4割と予測。身寄りのない高齢者はさらに増加し、社会的孤立を防ぐため、支援体制の充実が喫緊の課題。本市の取組を伺う。</p>	

No.	1 1	森重 豊
質 問 事 項		要 旨
1	家庭ごみの自主搬入について	防府市では、地区毎に家庭ごみ収集方法等が決まっているが、誰でも、何時でも搬入する場所の確保ができないか？
2	観光等の案内について	市内観光マップで、周辺隅々まで思いやりを持って案内ができないか？

No.	1 2	久保 潤爾
質 問 事 項		要 旨
1	防府市鳥獣被害防止計画について	今年度が計画の最終年度になるが、これまでの取組と成果について伺う。
2	部活動の地域移行について	防府市では、令和7年度末での完全移行を目指しているが、その進捗状況について伺う。

No.	13	松村 学	
質問事項			要 旨
<p>1 全国に通用する食や特産品開発と知名度アップについて</p>	<p>経産省のデータでは今年2月になって、鉄道旅客運送業はコロナ前の2019年12月と比べ、全国旅行支援の効果もあり、90%程度まで回復し、航空旅客輸送業は2019年12月を15%超えるまで回復し、経済コラムでも2023年度のインバウンド需要は2019年の4兆8千億円を超える4兆9千6百万円と上回ると予想されています。5月8日からコロナが5類に格下げとなり、本市でも多くの市民がノーマスクで外出されるなど、コロナ前の状況にすっかり様変わりし、活気を取り戻し、先日行われたゴールデンウィーク前の緑花祭や北基地の航空祭ではコロナ前よりも超満員と思えるぐらいの賑わいでした。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、本市でも飲食業を中心に観光施設でも寂しい状況が続き、多くの事業者が廃業されましたが、今年度の急激なインバウンドの伸びはコロナ禍で体力をなくした主要観光地では過密状態となり、日本人観光客はかえって地方へゆっくり観光する傾向にあると報道もされています。まさに本市の観光再生や街の賑わいを取り戻すチャンスが到来しました。</p> <p>そこで、この度はフードツーリズムの需要が高まっている中で、全国に通用する食や特産品の開発について、市の今後の取組をお伺いします。</p> <p>(1) 防府の特産品「鱧」の周知に向けた取組について</p> <p>(2) 未利用魚の開発について</p> <p>(3) 農産物のブランド化について</p> <p>(4) お土産品やスイーツの開発について</p>		

No.	14	三原 昭治	
質問事項			要 旨
<p>1 市営住宅について</p> <p>2 地域部活動推進事業について</p>	<p>市営住宅においては、高齢化社会の進展などからエレベーターの設置や室内の段差の解消によるバリアフリー化など、ユニバーサルデザインが求められているが、既存施設や新施設においてどのように対応しているのか。また、入居者の家賃滞納による支払い、明け渡しを求める訴訟は、多くあった以前のような状況ではないが、時折、専決処分による報告がされるが、現況は。</p> <p>防府市教育委員会の議会説明では、「地域部活動推進事業は、子どもたちのスポーツ・文化・芸術活動の機会を将来にわたり確保できるよう、令和7年度末の地域部活動への完全移行を目指します。」そして、「令和5年度は教育委員会にクラブ管理事務局を設置し、先行してモデルクラブである剣道、柔道での地域移行に取り組みます。」としている。</p> <p>一方、当事者の子どもたちや保護者らは十分な理解に至っていないのが現状であり、改めて地域部活動推進事業について、具体的な目的、事業の取り組み内容の説明を。</p>		

No.	15	和田 敏明
質問事項		要 旨
1 通学用かばんについて	通学用かばんについて	
2 熱中症対策について	小・中学生の熱中症対策について	



No.	16	清水 力志	
質問事項			要 旨
1	新型コロナウイルス感染症の5類移行について	<p>政府は5月8日から新型コロナウイルス感染症について、これまでの2類から5類に移行した。移行後の対応は、どのようにしているか。</p>	
2	子育て支援について	<p>中学校卒業までの子どもの医療費無料化の拡充について</p>	
3	学校教育について	<p>(1) 山口県教育委員会は今年度、中学校2・3年生の1学級の人数上限を35人から38人に増員する方針を打ち出したが、市内で対象となった中学校数と、35人学級と比べて、減少した学級数は。</p> <p>(2) 中学校の部活動の地域移行が今年度から始まった。教員の負担軽減などでメリットもあるが、将来、中学校における部活動が学校から切り離され、学校教育の一環としての部活動という位置づけがなくなるということなのかと懸念するが、どうか。</p>	

No.	17	田中 健次		
質問事項			要 旨	
1	新型コロナ感染の医療体制について		<p>(1) 新型コロナ感染症の5類移行で医療体制はどうか。</p> <p>(2) 国は、入院医療体制と入院調整機能の円滑な移行を図るために、県に「移行計画」の策定を求めている。防府市関係については、どのような内容になっているのか。</p>	
2	子どもの医療費無償化について		<p>防府市では、医療費の無償化は、通院・入院とも小学校までであり、県内他市と比べて後れを取っている。今後、改善を検討すべきではないか。</p>	
3	文化・スポーツ施設における高齢者への割引制度について		<p>市の文化・スポーツ施設において、高齢者への割引制度を検討すべきではないか。</p>	
4	集合住宅への行政情報等に関する掲示板の設置について		<p>集合住宅を建築する際には、行政情報や自治会等のお知らせ等を掲示することが出来る掲示板を設置するよう求めるべきではないか。</p>	

No.	18	吉村 祐太郎
質問事項		要 旨
1	キャッシュレス決済について	主要観光施設のキャッシュレス決済の現状と今後について
2	UJIターンについて	UJIターンの現状について
3	チャットGPTについて	教育における、チャットGPTの使用について

